

◆開発スタイルにおける時代の変化は、

◇言語、OSの変化、当然、我々も変わっていかなければならない。しかし、「変化の激しい時代だからこそ基本に立ち返れ」という名言がある。これは、阿部先生※2)のお言葉でね。とても深く、自分で考えて、答えが出るまでに時間がかかったけれど本当にそう思うよ。

基本は、顧客価値の創造。すなわち、顧客の顧客を見てニーズの変化を見る。イノベーションとマーケティング、ポイントをあわせて見れば、世の中それほどばたばたしなくていいよ。

◆石塚さんの活力の源は、

◇活力の源って、ばかさが加減ではないかな。基本的に頭が良くないので過去にとらわれない。楽観は意思、悲観は感情、人間は心を意思の力で組み立てられるのかもしれない。

ないね。常に新しいもの、こういうものがあると便利だなあと思うものを考え、楽しみながら夢中で駆けずり回っている。これは、ビジネススタイルではなくて、完全なやじうまスタイルなので、経営者には向いていないかなあ。

◆...

対談後の石塚氏は、聞き手の見送りに、駐車場まで来てくださいました。氏の、顧客に礼を尽くす心を感じました。

※1 平成10年度に、新潟工科大学情報電子工学科青山研究室に社会人研究生として在籍

※2 新潟工科大学名誉学長(新潟工科大学初代学長)

柏崎市・柏崎商工会議所との共同企画

■ 地元企業との交流が活発に!

■ 柏崎市・柏崎商工会議所が繋いだ産学連携

柏崎市および柏崎商工会議所と本学地域産学交流センターでは、昨年度より定期連絡会を月に2回程度開催していますが、この定期連絡会にあわせて行われた研究シーズプレゼンテーションをきっかけに、柏崎市および柏崎商工会議所のご尽力により(株)森製作所様と山崎准教授の共同研究が立ち上がりました。なお、この共同研究は柏崎技術振興協会の産学連携技術開発支援事業に採択され、研究助成を受けて行われています。

■ 1・2年生が市内企業を見学

11月～12月にかけて、機械制御システム工学科の1年生と情報電子工学科の2年生が講義の一環として市内企業を見学しました。この見学会は柏崎市および柏崎商工会議所と本学地域産学交流センターの定期連絡会をきっかけに、昨年から実施しています。学生は15名程度のグループ単位で市内企業を1～2社見学しました。見学後の学生からは、

- ・説明していただいた方が非常に親切で丁寧に説明していただいたことがうれしかった。
- ・すぐ近隣に、日本の自動車産業を支える工場があることが初めてわかった。
- ・想像していたよりも大きな規模の会社であったことに驚いた。

・卒業後は、自分もこのような会社で働きたい。

などなど、様々な感想が得られました。学生の多くが企業を実際に見学するのが初めてで、今後の修学のモチベーション向上に非常に有意義な見学会となりました。

■ 本学教員も市内企業を見学

柏崎市および柏崎商工会議所との共同企画で、9月に大学教員による市内企業見学(3日間で19社)を行い、併せて、10月に「市内企業と大学教員の懇談会」を実施しました。市内企業見学会は開学当初にも開催しましたが、市内企業と本学教員の垣根を取り払い、産学交流をより活性化することを目的として改めて行いました。今後も同様の企画を市内はもとより県内各地でも検討していきたいと考えております。

